

森林浴と名湯の温泉浴が楽しめる新名所

「有馬温泉癒しの森」コース

コース 神鉄有馬温泉駅～鼓ヶ滝公園～炭屋道～魚屋道～筆屋道～瑞宝寺公園～神鉄有馬温泉駅

歩行時間 約1時間30分〈約4km・一般向〉

有馬の温泉街から手軽に森林浴が楽しめる「有馬温泉癒しの森」をご紹介します。

総面積53haの「有馬温泉癒しの森」は有馬周辺に広がる六甲山系の自然を手軽に楽しめるように散策路の整備や休憩所の設置など、行政と地元が一体となり、2005年から進められてきた「有馬温泉里山プロジェクト」の一環として作られました。

今回は、癒しの森の中を通るハイキング道を利用して、鼓ヶ滝公園から瑞宝寺公園まで歩いてみました。

神鉄有馬温泉駅を降り、鼓ヶ滝公園まで温泉街を散策しながら歩きます。

公園の入口付近にあるすべり台の横の道を登るとロープウェー有馬温泉駅。

駅からは、横の林道を直進します。約20分ほど歩くと左手に休憩所と新しい道標・案内板①があります。道標に従って左に折れ、丸太の階段を登り、魚屋道を目指しますが、この分岐を直進すると紅葉谷道・湯槽谷方面に行くことができます。新しい道標には「魚屋道まで0.4km・約15分」とありますが、ここから魚屋道までは、急な登りが続くので休憩をとりながらゆっくり歩くのがよいでしょう。所々、真新しい丸太で整備された道を大汗をかいて登り切り、魚屋道に出ると道標には「左・有馬温泉、右・最高峰」とあり、

ここは右へ、約5分ほど行くと左手に石碑、右前方に立派な休憩所②ができています。ここで一息入れて、再び魚屋道を少し進むと左手に道標③と左へ下る新しい道ができています。道標には「瑞宝寺公園1.3km・約30分」とあり、新道をワクワクしながら瑞宝寺公園を目指します。約10分ほど行くと新しい展望広場があり、



ハイカーが休憩できるようにになっています。ここから道は谷筋へ下ります。途中、沢を渡る箇所があり、足元要注意です。展望広場から約20分ほどで太鼓滝④がある沢に出ます。滝を見物して沢を上ると瑞宝寺公園の園内に出ます。瑞宝寺公園は日暮らしの庭とも呼ばれ紅葉が色づく頃には園内が紅く染まり、その美しさにしばし立ちつくしてしまいます。また、この公園の入口にある山門⑤も紅葉でうめつくされ、優美な風景を見せてくれます。ここから神鉄有馬温泉駅までは約20分ほどですが、ちょっと寄り道をして日本三古泉に数えられる有馬温泉で一汗流してみてもいいでしょう。

